

病害虫発生予察特殊報第 1 号

平成 22 年 6 月 2 日

三重県病害虫防除所

キク茎えそ病の発生が本県では初めて確認されましたので、特殊報として発表します。

- 1 病害名 : キク茎えそ病
- 2 病原ウイルス : *Chrysanthemum stem necrosis virus* (CSNV)
- 3 発生確認作物名 : キク
- 4 発生確認地域 : 松阪市
- 5 発生確認の経過

平成 22 年 5 月に松阪市の農家からキクの病害が三重県農業研究所循環機能開発研究課に持ち込まれ、本病が疑われたために、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター昆虫等媒介病害研究チームに診断を依頼しました。マルチプレックス PCR 法で検定した結果、キク茎えそ病と診断されました。なお、マルチプレックス PCR 法で検出された cDNA は塩基配列解析も実施され、既報 CSNV の配列と 98%一致しました。

本病はブラジルで 1990 年に初確認され、国内では平成 18 年に広島県で発見された後これまでに東北から九州まで 15 県で発生が報告されています。

6 病徴

茎にえそ症状(図 1)、葉に退緑症状(図 2) やえそ症状(図 3)が現れます。葉柄にえそが出ると葉が垂れ下がります。別の病気であるキクえそ病(病原ウイルス TSWV)とはほとんど区別が付きません。

7 伝染

キクえそ病と同じくミカンキイロアザミウマによって媒介されるほか、感染した親株からの挿し穂によっても伝染します。

8 対策

従来から発生しているキクえそ病に準じます。病気を媒介するミカンキイロアザミウマの対策が重要です。

- 1) 発病株は抜き取ってすみやかに埋没し、二次伝染防止に努めてください。
- 2) ミカンキイロアザミウマを薬剤防除してください。
- 3) 圃場周辺の雑草はミカンキイロアザミウマの発生源になるので、除草を徹底してください。
- 4) 施設栽培では、防虫ネット等でミカンキイロアザミウマの侵入防止に努めてください。
- 5) 施設栽培では、栽培終了後に蒸し込みを行ってください。

9 注意事項

本県にはキクえそ病も発生していて本病との区別は困難です。キクで疑わしい症状が見られた場合は、病害虫防除所にご相談ください。

本県では未確認ですがトマトには本病原ウイルスによるトマト茎えそ病が発生しますので、トマトで不明の症状が見られた場合は、関係機関にご相談ください。



図1 茎のえそ症状



図2 葉の退緑症状



図3 葉のえそ症状